

真夏日の暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？熱中症には十分気を付けてください。今月のSawamoto Dental Office Newsは糖尿病、高血圧の方への歯科医院受診における注意事項について特集してまいります。



● **糖尿病** ・ **高血圧** の方こんなことにご注意を！

糖尿病

①食事はいつもどおりに。

抜歯前などに、「気分が悪くなるといけないから」と食事を抜く方が時々おられますが、これは低血糖発作の原因になるため危険です。いつもどおりに食事をとって、ご来院ください。

②休薬しないで！

普段飲んでいる薬は、必ずいつもどおり飲んで受診してください。糖尿病は血糖値を自分でコントロールできなくなる病気。お薬の支えを急に失うのは、血糖値が不安定になり危険です。

③歯周病を予防しましょう。

糖尿病の方が歯周病になると、炎症が進みやすく、治療をしても治りにくいです。普段から、歯科医院に定期的に通い、メンテナンスを受けて予防を心がけましょう。

④来院回数が多い場合も。

糖尿病の方は感染しやすいため、術後の経過観察を丁寧にしていく必要があります。通常より来院回数が増えることもあります。ご協力をお願いします。



高血圧

①止血処置をするのでご安心を。

休薬しなくても止血できるように、抜歯の後はしっかりと処置をします。抜歯当日は運動、飲酒は避け、入浴はシャワー程度にしましょう。

②休薬しないで！

お薬はいつもどおり飲んで受診を。血圧が急上昇してチェアの上で気分が悪くなったり、脳梗塞などの発作を起こしたら大変です。休薬はとても危険です。決してしないでください。

③お口のなかを清潔に。

血管を広げるお薬、カルシウム拮抗薬による副作用(歯ぐきの膨張)は、お口のなかにプラーク(歯垢)がたっぷりある方に起きやすいです。日頃から丁寧に歯みがきをして、お口のなかの清潔を保ちましょう。

④朝の血圧を教えてください。

歯科に来るとドキドキして血圧が上がってしまう方は多く、歯科医院で測っても普段の血圧がよく分かりません。毎朝血圧を測る習慣をつくり、当日朝に測った数値を教えてください。



※この他にも骨粗鬆症のお薬を飲んでいる方なども歯科治療に影響を与えることがありますので、お薬を飲んでいる方は教えてください。

★お薬手帳は保険証とセットで！

お薬手帳って実は私たちの身体を守ってくれる優れもの。いろいろな診療科にかかって、それぞれの診療科で処方された多種多様なお薬を飲んでいる患者さんが増えています。お薬をすべてご自分で把握し、随時歯科医院に申告するのはとても大変なことです。服用しているお薬を正確に伝え、歯科治療への影響をしっかりチェックするためにお薬手帳を活用しましょう。

